

特定非営利活動法人だんてらいおん(総会用資料)

令和元年度 事業計画(案)

令和元年5月25日(土)13:00～
本館1階

【組織体制】

①昇格・異動なし。

②職員人数(昨年度より常勤4名増・非常勤5名減。合計1名減)

	常勤	非常勤	合計
共同生活	9名	12名	21名
生活介護	22名	18名	40名
居宅介護	1名	6名	7名
短期入所	2名	1名	3名
合計	34名	37名	71名

③平均勤続 5.0年(常勤—4.7年 非常勤—5.3年)

④平均年齢 39.5歳(常勤—36.6歳 非常勤—42.4歳)

【新職員の紹介(常勤)】

① **佐竹 真菜(20)** <<介護福祉士・同行援護>>

南海福祉専門学校 介護社会福祉コース卒

② **今西 優弥(23)** <<介護職員初任者研修修了>>

大阪電気通信大学卒→(株)ベネッセスタイルケア 介護実務1年

③ **花井 幹生(29)** <<介護福祉士・行動援護従業者養成研修修了>>

追手門学院大学卒→(社福)生野みんなの家 障がい実務8年

④ **長谷川愛永(22)** <<栄養士>>

大阪女子短期大学卒→(株)フジ産業 栄養士実務2年

【令和元年度 主な取り組み】

① 報酬改定

令和元年10月～福祉・介護職員等特定処遇改善加算が創設
経験・技能のある障害福祉人材が多いサービス種類を高く評価

② 給与規定の改定(ベースアップ200円・資格手当での拡充)

看護師・理学療法士・管理栄養士・保育士・簿記1級を追加。複数所持の場合は其々に支給して、専門職としての質の向上と人材確保を図る。

③ 法人全体

令和2年春頃、計画相談支援事業の指定(本年度中に申請準備)
令和2年秋頃、本館外壁等改修工事(本年度中に計画案・予算案を策定)
地域貢献事業(大阪コミュニティ財団助成)

④ 利用者の会を設立

会則・役員選出を目指す。

1、生活介護事業(こんふおーと・リバティ・リアン)

①開所日数**267日**(上期134日／下期133日)

②登録利用者数(重度障がい者支援加算対象利用者)

班名	区分6(重度)	区分5(重度)	区分4(重度)	合計
なごみ班	5名(5名)	4名(4名)	0名(0名)	9名(9名)
いきいき班	7名(5名)	0名(0名)	0名(0名)	7名(5名)
のびのび班	6名(6名)	2名(0名)	0名(0名)	8名(6名)
ひだまり班	11名(9名)	0名(0名)	0名(0名)	11名(9名)
ハピネス班	2名(2名)	4名(2名)	1名(1名)	7名(5名)
合計	31名(27名)	10名(6名)	1名(1名)	42名(34名)

※新規登録利用者 **K・Y様** **A・K様**

③職員配置(人員配置体制 I・重度障がい者支援)

事業所名	常勤(内、兼任)	非常勤(内、兼任)	合計	1日の平均配置
こんふおーと	13名(10名)	8名(0名)	21名(10名)	14.03名
リバテイ	2名(1名)	4名(0名)	6名(1名)	2.28名
リアン	7名(5名)	3名(0名)	10名(5名)	6.34名
合計	22名(16名)	16名(0名)	38名(16名)	22.65名

④主な支援内容

- ・「利用者の会」の発足を目指す。
1、規約の作成 2、役員を選定 3、一泊旅行・忘年会への参画
(一泊旅行下見にも参加予定)
- ・利用者様の支援にあたっては、利用者様の希望・ニーズに沿ったサービスを提供する。
また利用者様の意思決定が図られるよう、日常的に「選択」する機会を設けていく。
- ・利用者様への快適な支援方法の確立。
(丁寧な声かけを心掛ける・不必要な指示、命令語を避ける)

⑤主な活動内容

- 1、内職作業
- 2、ポスティング作業
- 3、音楽
- 4、プール・登山・軽運動
- 5、畑
- 6、調理実習(班ごとで実施)
- 7、地域清掃(公園掃除、道路のゴミ拾い)
- 8、その他 利用者様にとって必要な活動

2、共同生活援助事業(みんなの家)

①職員配置(専門職配置体制 I・重度障がい者支援)

職 種	常勤(内、兼任)	非常勤(内、兼任)	合 計	1日の平均配置
世 話 人	2名(0名)	7名(0名)	9名(0名)	5.00名
生 活 支 援 員	12名(7名)	6名(1名)	18名(8名)	7.40名
合 計	14名(7名)	13名(1名)	27名(8名)	12.40名

②入居者様への支援について

- 1、40歳以上の入居者様を対象に、人間ドックの受診を押し進めていきます。
(5年以内を目標)
- 2、入居者様の健康状態の改善を図るため、食事内容を見直します。
(例、白米から、もち麦を混ぜた米に変更 油ものを控え、野菜を増やす 等)
- 3、入居者様の口腔内の改善を図るため、歯磨きは電動音波歯ブラシを使用します。

3、居宅介護事業

①職員配置(行動援護:特定事業所加算Ⅲ)

職 種	常勤(移動支援)	非常勤(移動支援)	合 計	1日の平均配置
管理者兼サビ責	1名(1名)	0名(0名)	1名(1名)	1.00名(1.00名)
ヘルパー	5名(4名)	22名(16名)	27名(20名)	2.40名(2.05名)
合 計	6名(5名)	22名(16名)	28名(21名)	3.40名(3.05名)

②登録利用者数

- ・行動援護 17名
- ・移動支援 6名

③主な活動内容(研修等)

- ・毎月、従業者を対象とした会議及び研修を実施し、共通理解を図る。
- ・6月に全体でのヘルパー研修会を行う。

4、短期入所事業（ルポゼ）

①職員配置（重度障がい者支援・栄養士・食事提供）

職 種	常勤(内、兼任)	非常勤(内、兼任)	合 計
管理者兼生活支援員	1名(0名)	0名(0名)	1名(0名)
生 活 支 援 員	6名(6名)	1名(0名)	7名(6名)
栄 養 士 兼 調 理 員	1名(0名)	0名(0名)	1名(0名)
合 計	8名(6名)	1名(0名)	9名(6名)

②事業目標

開所日数増加 及び 稼働率10%アップ

- ・月に1～2回程度開所日数を増やします。
- ・登録利用者数10名増加を目指します。

5、地域貢献事業（大阪コミュニティ財団助成）

テーマ「障がい者主体の地域福祉教育の発展と人材養成および社会資源の開発」

①相談支援

専用電話を設置して、社会福祉士の資格保持者が24時間体制で対応する。

②福祉教育講座

- ・小中学生を対象としたお菓子作り体験－栄養士資格等を持つ講師を招いて実施する。
- ・小中学生を対象としたスポーツ大会－障がい者スポーツセンターを利用して開催する。
- ・防災訓練－近隣施設・機関・地域自治会等の連携と協力体制を得て実施する。

③市民講座（ミニ絆）

心理的虐待、ネグレクトまた、相模原施設殺傷事件を通して浮かんでくる様々な問題解決策を探る。

④全体会地域学会「絆」全体会

6、実習の受け入れ

①学校法人 城南学園関係

●大阪城南女子短期大学

専攻科介護福祉専攻 2019.5.23~6.11 1~2名

人間福祉学科 2019.10.24~11.12 2~3名

●城南学園高等学校 2019.5.29 10:00~15:00 15名

②南海福祉専門学校

介護・社会福祉コース2年 2019.11.27~12.20 2~3名

介護・社会福祉コース1年 2020. 2.20~2.27 2~3名

③支援学校関係

大阪府立東住吉支援学校 前期(6月頃)・後期(9月頃)

7、団体加盟

- ①大阪府社会福祉協議会(セルフ部会) 久保統括・辻主任
- ②東住吉区自立支援協議会(居住系) 栗根施設長・津司副主任・他
- ③東住吉区自立支援協議会(日中活動系) 森主任・他

8、福利厚生(健康診断)

6月一定期健康診断(全職員を対象)※一部対象外の者あり。

11月ーインフルエンザ予防接種(全職員を対象)※居宅介護従業者を追加

連携医療機関に「矢田生活協同組合」を追加

9、キャリアアップ支援制度

①第2種衛生管理者

②相談支援従事者初任者研修

《栗根施設長》

③介護福祉士実務者研修修了

④強度行動障がい者支援者修了(実践)

⑤強度行動障がい者支援者修了(基礎)

⑥行動援護従業者研修修了

⑦防火管理者

⑧介護福祉士実習指導者資格

10、職員研修

①全体共通研修(外部講師)※アイテム監修

- ・テーマ「ケースメソッドで学ぶ問題解決力向上」
- ・10月リーダー対象、12月一般職員対象

②施設見学(一般職員を対象)※施設機能の理解を図る

③実務研修(リーダー・班長を対象)※支援のスキルアップを図る

④リーダー研修(班長以上を対象)※リーダーシップ向上を図る

⑤個別研修(全職員を対象)※個々のスキルアップを図る

11、環境整備(床洗浄・ワックス)

時期	場所	内容
6/16(日)	本館1～4階共用 4階居室 別館1～2階共用 新館1～2階共用 3階居室	床洗浄・ワックス
9/15(日)	本館1階共用 別館1～2階共用 新館1階共用	床洗浄・ワックス
12/15(日)	本館1～4階共用 別館1～2階共用 新館1～2階共用	床洗浄・ワックス
3/22(日)	本館1階共用 別館1～2階共用 新館1階共用	床洗浄・ワックス